

平成 21 年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群
	対象学科・専攻	情報工学科
情報処理 (Information Processing )	担当教員	豊平隆之 (Toyohira, Takayuki)
	教員室	情報工学科棟5階 (Tel. 42-9090)
	E-Mail	toyohira@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 30回	
〔本科目の目標〕 2年次の情報処理 の講義に引き続き、実務上広く使われているCでのプログラミングを学ぶ。また、オブジェクト指向の考え方についても理解を深める。		
〔本科目の位置付け〕 本科目を修得した場合、プログラミングを使用する科目の基礎となる。		
〔学習上の留意点〕 教科書の基本的な例題、演習問題を中心に演習を進めていく。事前に机上で例題プログラムを予習し、練習問題に取り組むといった努力をしなければプログラミングの能力は身につかない。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 構造体  --- 前期中間試験 ---	15	構造体の定義、構造体変数の宣言を理解できる 構造体メンバ、構造体の代入を理解できる 列挙型の定義、列挙型変数の宣言を理解できる  授業項目1について達成度を確認する
2. おもしろいプログラム  --- 前期期末試験 ---	15	エラトステネスのふるいによる素数表を理解できる ライフゲーム、再帰呼び出し、ハノイの塔、8クィーン問題を理解できる  授業項目2について達成度を確認する
3. データ構造  --- 後期中間試験 ---	15	リスト構造、双方向リストを理解できる 木構造を理解できる  授業項目3について達成度を確認する
4. オブジェクト指向プログラミング  --- 後期期末試験 ---  試験答案の返却・解説	15	オブジェクト指向を理解できる 部品、クラス型、データの隠蔽を理解できる メンバ関数、フレンド関数、演算子関数を理解できる データ抽象化、継承、仮想関数を理解できる  授業項目4について達成度を確認する  各試験において誤った部分を理解する
〔教科書〕 C・C++入門 松林 勝志 他共著 森北出版		
〔参考書・補助教材〕 プログラミング言語C第2版 石田晴久訳 共立出版		
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験(70%) + 小テスト・レポート(30%) - 授業態度(20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		